

あったか

No. 60

平成23年7月1日

ATTA
KA
NETWORK

ネットワーク



「親子で楽しくふれあい遊び」

「ベビーサークルほほえみ」でのひとコマ

発行

軽井沢町社会福祉協議会

〒389-0111

軽井沢町大字長倉4844-1

電話 45-8113(代)

FAX 46-2116

E-mail:karuizawashakyo@orion.ocn.ne.jp

- 平成22年度の事業を報告します p 2・3
- 行ってきました東日本大震災災害ボランティアセンター p 4
- 特別会員紹介／シリーズ「健幸になるために」 p 5
- 地域活動支援センターより／悠々だより
サロンで出来るレクリエーション p 6
- 安心生活創造事業 p 7
- 新任職員紹介／撮影講習会のお知らせ
ちょっとひと休み p 8

平成22年度 社会福祉協議会事業状況報告

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」及び「県北部地震」は甚大な被害をもたらしました。当社協では、町と連携し義援金及び支援物資受付の窓口を開設、並びにボランティア希望者に対して情報提供等被災地復興に携わってまいりました。また、一週間後に開催した「災害ボランティア活動フォーラム2011」では、大勢の住民の皆さまに参集いただき、防災に対する関心の高さと併せて地域の結びつきの重要性を再認識していただける機会となりました。

国庫補助事業の「安心生活創造事業」は2年目を迎え、ひとり暮らし高齢者等の安否確認と見守りを含めた生活全般の困りごとを地域全体で支える新たな支援体制の構築に向けた事業を進める中、平成22年度は公共交通機関の利用に苦勞されている地区をモデル地区として3地区指定し、外出の機会と買い物支援を兼ねた「安心ほっとサロン」を展開致しました。また、社会福祉大会では、テレビやラジオで活躍されている毒蝮三太夫氏を招き有意義な講演と軽井沢高等学校演劇部・住民有志による全て手作りの創作劇を上演いたしました。会場では「手の写真展」も同時開催し、大会終了後も木もれ陽の里に会場を移し展示致しました。新規事業として、地域活動支援センターでは追分公衆トイレ等清掃業務委託を受け、公共施設の清掃美化に努めました。

社会福祉協議会としての役割と活動原点に立ち戻り、地域福祉を推進する核としての「社協の特性」や「社協にしかできないことは何か」を常に問いかけ、今後の事業展開に向け、住民・行政・関係機関と手を携えながらサービスの質の向上と適切な事業展開に取り組んでまいります。

【主な実施事業】

- ◆理事会 4回開催
- ◆評議員会 4回開催
- ◇福祉の集い
 - *第17回軽井沢町社会福祉大会 472名参加
 - *第6回ふれあい祭り 約1400名参加
- ◇ひとり暮らし高齢者ふれあいの旅事業 58名参加
- ◇町内小中高校の福祉学習への協力 5校
- ◇在宅心身障がい者(児)希望の旅 43名参加
- ◇アートを楽しむ講座 開催 述べ180名参加
- ◇災害ボランティア活動フォーラム2011 132名参加
- ◇金銭管理、財産保全サービス事業 705件
- ★介護保険ホームヘルパー派遣、
デイサービス、ショートステイ事業 述べ18685件
- ★介護保険対象外ホームヘルパー派遣
デイサービス、ショートステイ事業 述べ1554件
- ★見守りを兼ねた配食サービス事業 14192食



社会福祉大会「手の写真展」



アートを楽しむ講座



配食サービス

平成22年度 歳入歳出決算額

(単位：円)

経 理 区 分	歳 入	歳 出	差 引 額
法人運営	86,813,028	80,283,892	6,529,136
共同募金事業	4,148,698	4,066,154	82,544
地域活動支援センター運営	24,252,950	23,082,821	1,170,129
指定管理者事業	10,114,112	10,114,112	0
生活支援事業	24,150,046	23,722,815	427,231
介護保険事業	411,176,840	234,592,272	176,584,568
合 計	560,655,674	375,862,066	184,793,608

※ 資金の動きを表したので、固定資産の残存価格は含まれておりません。

新役員を紹介します。

役 名	氏 名	役職名簿
理 事	篠原 公子	軽井沢町議会
評議員	大浦 洋介	軽井沢町議会

(敬称略)



東日本大震災及び県北部地震

◆義援金報告

引き続き受け付けております「東日本大震災及び県北部地震」義援金ですが、5月14日から6月15日までに寄せられた義援金は全額日本赤十字社長野県支部へ送金しました。

皆さまのご協力に感謝申し上げます。

総 額 16,633,030 円 (6月15日現在)

内、募金箱 2,350,306 円

(募金箱設置場所 町役場、軽井沢病院、中央公民館、木もれ陽の里 (1回・2階))

社協窓口受付 (敬称略、順不同)

◆南軽井沢新興会 1万円 ◆軽井沢国際女子テニス大会実行委員会 57,354円 ◆アクティブリゾート株式会社 23,547円 ◆匿名 3,500円 ◆匿名 2万5,000円 ◆(株)白樺堂ボランティア会 10,029円 ◆スカップ軽井沢募金箱 2,712円 ◆軽井沢どれみ企画 58,216円

役場受付分 (敬称略、順不同)

◆前沢(木津)隣組 2,095円 ◆軽井沢ウエディング協会 119,273円 ◆軽井沢国際女子テニス大会実行委員会 39,100円 ◆三井の森軽井沢カントリー倶楽部 1万円

今後も引き続き募金箱を設置し、社協窓口での受取り(受領書発行)を行いますので、ご協力をお願いいたします。

東日本大震災

災害ボランティアバスパック実施報告

6月17日(金)から20日(月)にかけて、軽井沢町より岩手県大槌町・山田町へ災害ボランティア活動として18名の皆様のご協力を頂きました。

ご参加頂いたボランティアの皆様は、被災された住民の方々へ誠心誠意の心と支援を届けようと額に汗して懸命に行動して下さいました。

被災地は現在も続く余震と長期化する避難生活に困難さを抱えています。県外からのボランティアは現地の方々の心の支えに繋がります。

ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。



◆ 社協特別会員紹介 ◆



1 企業名・**2** 業 種
社会福祉法人 育護会
指定障害者支援施設
浅間学園

3 一言
 浅間学園は、昭和29年に障がい児の生活施設として発足しました。
 現在は、障害者支援施設として、一人ひとりの利用者の皆さんの意思を大切に、個性を尊重し、本人の心に寄り添い利用者本位の支援に心掛けています。
 平成23年3月には、新しい施設となり、これからも地域に根差し、貢献できる施設を目指していきます。
 取材者 地域福祉係 佐藤友晴



1 企業名
有限会社 岩下建築
2 業 種
 建築業
3 一言

平成10年設立。主に住宅設計・施工・リフォーム工事等を行っています。建築士でもある社長自らが、お客様とお話ししながらご希望の設計をし、施工いたします。お客様に喜んでいただける親切・丁寧な仕事を心がけております。
 取材者 在宅福祉サービス係 高梨貴光



1 企業名
上田信用金庫 軽井沢支店
2 業 種
 金融業
3 一言

上田信用金庫は大正11年12月に地域金融機関として発足以来、地域の皆さまからの厚いご支援のもと、本年創立90周年を迎えることとなりました。現在、地域の皆さまへ感謝の気持ちを込めて「創立90周年記念事業」として各種預金・ローンのキャンペーンを展開しております。お気軽にご来店・ご相談をお待ち申し上げております。
 取材者 地域福祉係 土屋慎一

シリーズ

けんこう
健康になるために

第8回 『ストレッチで肩こり知らず』

皆さん、一度は肩の張りやコリを感じたことがあると思います。今回は、肩こりを悪化させないマッサージやストレッチを紹介していきます。試してみてください！！

【肩こりの原因を知ろう！】



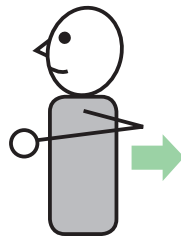
【実践！肩こり改善体操】

1. 頭皮ほぐし

○指の腹を使って、頭全体をほぐすようにマッサージする。
 頭皮が凝ると、繋がっている首や肩も張りやすくなります。

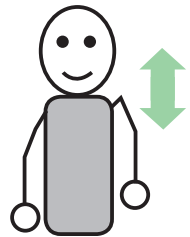
2. 大胸筋

○胸を開くように、両肘を真っ直ぐ後方へ引く。斜め上を向く。



2. 肩甲骨

○左右交互に肩を上げ下げします。（左右交互に10回程）



☆ストレッチは、**約10秒姿勢を保持**してください。**息を吐きながらストレッチ**を行なうとより効果的です。1日2回程、入浴後は特に効果が得られやすいと思います。（介護業務係 佐々木）

次回：『足のストレッチで怪我しらずになろう！』では、足のストレッチ方法の紹介を予定しています。

地域活動支援センターより



「行こう みんなで みんなで さあ！木もれ陽の里へ〜♪」月に1度、先生をお呼びして「花のリズム（音楽療法）」を行なっています。「木もれ陽の里のテーマ」（花のリズム内での）を手話を交えながら歌ったり、リズムに合わせて手や足を動かし、全身を使って心も体もリフレッシュ！「ふるさと」や「もりのくまさん」、「信濃の国」など、毎回様々な歌を歌い、利用者からも自然と笑顔がこぼれます。



地域密着型サービス通信

悠々だより



小規模多機能型「まさちゃん家」・グループホーム「くにちゃん家」より

社協というと「木もれ陽の里」を思い浮かべる方が多いと思いますが、こちらは中軽井沢の老人福祉センターと同じ敷地内にあり、地域の方々と共に歩んで3年目になります。行事を通して両事業所の紹介をしていけたらと思います。よろしくお願いいたします。

←6月2日 地域活動支援センターの方々と草だんご作りを行いました。総勢40名近くの大変にぎやかな会でした。様々な交流や笑顔が生まれるのもこういった会の醍醐味ですね。

サロンでできる！レクリエーション

★ボールでビンゴ

- ① 穴を狙い、スティックでボールを打ちます。
- ② 穴の中に点数を書いておき、競い合います。

- * 段ボール箱を加工し穴を開け用いる。スティックはゲートボール用を使用。
 - * デイサービスでは、個人対抗にしたりチーム対抗にし、ボールの数やルールを変え楽しんで行っています。
- 座ったままでも出来るので安心です。

(介護業務係 島田)



安心生活創造事業

地域通貨
安心ほっと生活サポート

今回は

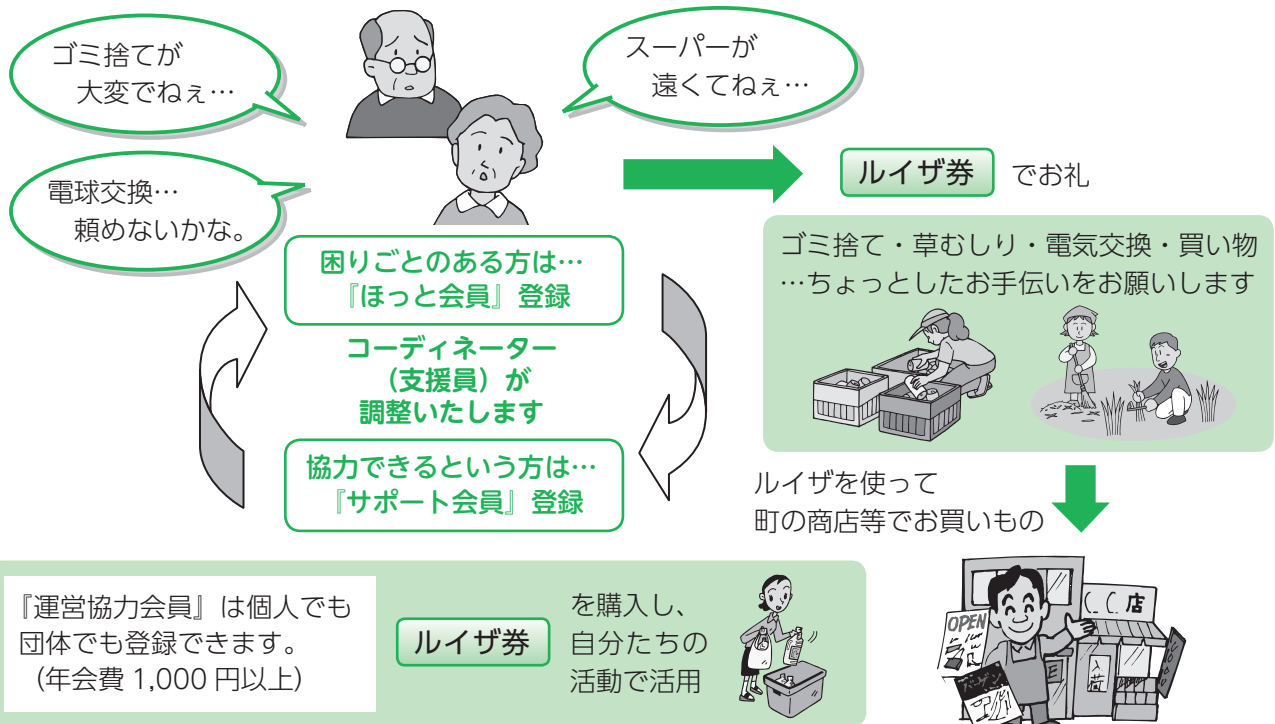
地域通貨
安心ほっと生活サポート
を紹介します

【安心ほっと配食便】
安否確認を兼ねた365日
昼食・夕食をお届けする
サービスです。

【安心ほっとサロン】
体操とサロンと買い物支援
を組み合わせた事業です。



社会福祉協議会では、新たな取り組みとして、住民のみなさんの日常のちょっとした困りごとを地域の関係性の中で支え、安心して地域の中で生活できる仕組み作りに取り組んでおります。
無縁社会とは“無縁”の温かい地域づくりに皆さまの力をお貸しください！



『運営協力会員』は個人でも
団体でも登録できます。
(年会費 1,000 円以上)

ルイザ券

を購入し、
自分たちの
活動で活用



ルイザ券を使用することで、一部がサポート事業運営費となり、商店街活性化につながりますので、多くの場でご活用ください。

★ 地域通貨で支え合いの輪が広がっています ★

会員 53名

地域通貨発行枚数 985枚

平成23年4月開始、5月末現在



◆地域通貨についての説明会・懇談会を希望される場合は、お気軽にお申し出ください。

《問い合わせ》

地域福祉係 電話 45-8113

新任職員紹介

社協が運営する地域密着型サービスの一つ、認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）「くにちゃん家」で介護職員として働いています。

優しい笑顔と温かい雰囲気を持ち、初めての介護現場での仕事に勉強になっています。と話す矢城さん。珍しい名字ですね。千葉県出身だそうです。



やしろう あゆみ
矢城 歩美 さん

(取材：地域福祉係 大沢)

◆ ご本人よりひと言 ◆

介護の仕事にお料理作り笑顔で頑張ります。

～手の写真展 特別企画～

撮影講習会

「家族ポートレートを美しく撮ろう」

「旅行の思い出に撮る写真、どうも出来上がりが…」

「子どもの成長記録の写真、

撮影のコツは…？」

そんなあなたの疑問を解消する講習会です。

カメラ（携帯カメラ以外）を持ってお気軽にご参加下さい。



日時 7月5日(火) 午前10時～12時

会場 木もれ陽の里 会議室 I

講師 スタジオトリコ

木村直人さん（町内在住写真家）

参加費 無料 定員 15名

問い合わせ・申し込み 地域福祉係 電話 45-8113

軽井沢町社会福祉協議会

電話番号一覧

〒389-0111 軽井沢町大字長倉 4844 番地 1

*事務局（総務・地域福祉・ボランティアセンター）

電話 45-8113 / FAX 46-2116

*地域活動支援センター（共同作業所）……電話・FAX 45-8422

*介護保険事業

◆指定居宅介護支援事業（ケアプラン）……電話 45-8508

◆指定訪問介護事業（ヘルパー）……電話 45-8508

◆指定通所介護事業（デイサービス）……電話 45-8547

◆指定短期入所生活介護事業（ショートステイ）……電話 45-0752

◆指定福祉用具貸与事業……電話 45-8508

〒389-0111 軽井沢町大字長倉 2363 番地 1

◆指定小規模多機能型居宅介護事業「まさちゃん家」

（ヘルパー・デイサービス・ショートステイ）…電話・FAX 45-8637

〒389-0111 軽井沢町大字長倉 2371 番地 2

◆指定認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）

「くにちゃん家」……電話・FAX 45-8641



ちょっとひと休み

5月30日に行われたボランティア団体モグリン主催の食育講演会の講師は旧真田町立の中学校校長を務めた大塚真先生でした。学校給食を米飯給食に変えた先生です。

ご飯に変えただけで何が変わったのか…？非行が減り、アトピーに悩む生徒が減り、不登校が減り、学力も上がったのだそうです。導入当初は教師や保護者の反対が根深く大変苦労されたそうですが、校内の廊下にバイクのタイヤ痕が付くほどの非行が横行していた学校だったそうですから、大きな変化だったことと思います。

「何を食べるか」。このことが身体だけでなく心の健康も作ることに改めて気づかされた時間でした。（大沢）

表紙紹介

「パン、パン、パン！」…子ども達は拍手が大好き。「ベビーサークルほほえみ」代表の清水さんの声に併せ、歌を唄いながらの手遊びに大喜びです。

「ベビーサークルほほえみ」は0歳から3歳位の子どもと保護者を対象にした子育て支援ボランティア団体です。同じ地域で子育てに励むもの同士、情報交換の場所として、また親子共に友達作りのきっかけとなることを目的に活動しています。毎月第1・第3木曜日の10時30分からお昼まで、子育て支援センターで行っています。予約制ではありませんから、気楽にのぞいてみませんか？